

Reference No.4

Utility Model

Publication No.: 36-6053

Publication Date: March 28, 1961

Title of Invention: Receptacle for Cosmetics

Applicant: Goro Hirono

Abstract:

The present invention relates to a receptacle for cosmetics. It has a connecting body "a", container tubes "b", "b", and liquid receptacles "c", "c." The container tubes "b", "b", are threadably attached to the connecting body "a."

125 L 2
(133 B 81)

特 許 庁
実 用 新 案 公 報

実用新案出願公告
昭36-6053

公告 昭 36.3.28

出願 昭 34.4.30

実願 昭 34-24257

出願人 考案者

広

野

五

郎

代理人 弁理士

千

野

直

一

東京都品川区西品川3の899

(全2頁)

化 粧 容 器

図 面 の 略 解

第1図は本案品の一部を切欠した側面図、第2図は同上の分解状態を示す一部切欠した側面図である。

実 用 新 案 の 説 明

本案は中央に隔壁1を有する連繫体aの左右に、区劃壁2の一面に蓋となる環筒3を同一体に形成した器筒bの容室4部を螺合すると共に該器筒bの環筒3に、注出孔5を有する栓6を口部7に挿嵌した液容器cの該口部7を螺合して成る化粧容器の構造に係るもので液容器cを軟質合成樹脂で構成してその圧縮により収容液体の流出を容易にすると共にその口部7の基端には段部8を設けて之と器筒bの内壁面との接触力により液体の漏洩を防止するもので尚図中符号9は連繫体aの雌ねじ、10は器筒bの外周に設けた雄ねじ、11は環筒3の雌ねじ、12は液容器cの雄ねじ、13は器筒bの螺合を容易にするためのり止めである。

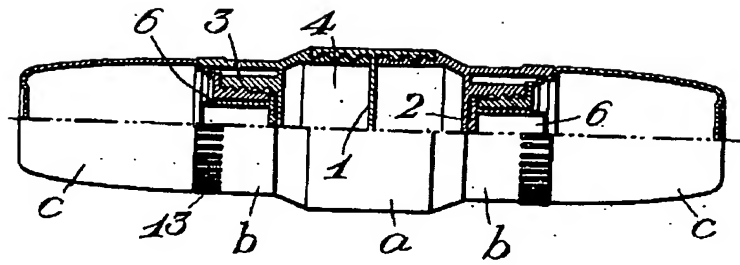
本案は叙上の様に構成したので左右2個の液容器c内にアストリンゼント、乳液等を各別に貯溜させ、更に器筒bの左右両容室4にはコールド・クリーム、パニシングクリーム等を是又各別に収

容した後に連繫体aを中核としその両側に前記の器筒bを螺合し液容器cを該器筒bの環筒3に螺合すれば全体が一つに連繫された化粧容器（図面の第1図参照）を形成するので携行に至便なるのは勿論、連繫体aの隔壁1によつて各別に収容された容器4内のクリームが混入する虞れがないのに加え各部品の螺合を順次に解除すれば化粧品を簡単に使用に供する事が出来、それに液容器cへの補給には栓6を抜き取つて行なえばこと足り、更に又化粧容器を合成樹脂で成形する際に各部品をピンク色、白色、コバルト色等の異色材で形成すれば体裁、及び触感が佳良なることと使用操作が頗る簡便で殊に輕快なるを以て使用心地が良好なることと相俟つて実用上幾多の効果を有し特にその形状は化粧容器として斬新である。

登 録 請 求 の 範 囲

図面に示す様に中央に隔壁1を有する連繫体aの左右に、区劃壁2の一面に蓋となる環筒3を同一体に形成した器筒bの容室4部を螺合すると共に該器筒bの環筒3に、注出孔5を有する栓6を口部7に挿嵌した液容器cの該口部7を螺合して成る化粧容器の構造。

第1図



第2図

